

宗岡二中だより 10月号



令和6年10月1日

自ら学び考える生徒

学校教育目標：心豊かな優しい生徒

明るく元気な生徒

「世界は誰かの仕事でできている」

校長 伊藤大輔

かつて、ひたむきに働く様々な職業の人が登場する缶コーヒーのCMがありました。標題はそのCMの決め台詞です。聞き覚えがあるという人もいるかもしれませんが。働くことに向き合わせてくれるCMでした。では缶コーヒーにまつわる「仕事」を、みなさんはいくつ思い浮かべることができますか。

おいしい缶コーヒーを考える人、コーヒー豆や缶などの材料を運ぶ人、缶やコーヒーを作る人、缶コーヒーを販売する人(自動販売機を作る人)など、多くの人々が携わります。また工場から店頭まではトラック、鉄道、船などが缶コーヒーを運びます。道路、線路、航路が使われます。それぞれの場で働く人がいます。話のスコープを少し広げます。

私たちの身の回りにある商品は、多くの人々の努力や苦勞の結晶です。多くの人々の力が合わさることで完成する商品がたくさんあります。もともと資源が乏しい我が国はその多くを外国に頼らざるを得ません。遠い国の誰かの仕事私たちの生活を支えている現実があるのです。

このように考えていくと「世界は誰かの仕事でできている」という言葉に重みを感じませんか。そして働くことの尊さに気付きませんか。教師になりたての頃、多岐に及ぶ仕事にふさぎ込む私を励まそうと職場の先輩が働くことの意義を教えてくださいました。

「働くという漢字は二つに分かれる。イ(にんべん)＋「動」だ。働くということは、人が動くことだ。例えば清掃の時間に、おしゃべりばかりして、手足を動かさない生徒は働くことから逃げている。ちゃんと働くよう君が働きかけないとね。もう一つ。働く

は「はた」＋「らく」という音でできている。それぞれ「傍(周りと言う意味)」＋「楽」という漢字を当てて読み直すと、「周りを楽にする」という意味が浮かび上がる。はたらくことは、周りの人を楽にして、笑顔にすることだよ。だから君がふさぎこんでいたら周りは笑顔になれない。そこで、まずは自分を大事にしよう。問題を一人で抱え込んじゃだめだ。周りに助けを求めて君が楽にできる方法を考えるんだよ。」

この日以来、私はその先輩の言葉を支えに働いてきました。正直、きつかったり、大変だったりすることもあります。でも動かないと何も始まらないと自分に言い聞かせています。周りの人を楽にしたり、笑顔にしたりする存在でありたいと思います。そしてできれば、私自身に無理をかけずに程よく動くことで傍を楽にしたいです。わたしは大切、あなたも大切なのです。

さて「仕事は選ぶものではなく、仕事に選ばれるのだ。」との名言があります。自分が決めた職業でも、仕事は与えられなければできません。まじめな人、熱心な人、能力の高い人には、どんどん仕事を与えられます。まさしく仕事は人を選ぶのです。二学期の教育活動が本格的に動き始める十月。授業に行事に部活動に・・・人の力が必要とされる場面が続きます。「手伝って。」「ちょっと手を貸して。」と誰かから依頼されたとき、あなたはその仕事に選ばれたのです。人の役に立つ機会を得たのです。その機会を無駄にせず、役に立つ経験を貪欲に積んでほしいと願っています。助け合いで作られるこの社会の一員となるために実践を重ねましょう。